

第四〇一回 南方像の巻

- 起句 01) 羽ばたきし南方像のお年玉 亜湖
- 02) 淑気貫く旭日の輻(や) 恆雄
- 03) 一輪の福寿草をば寄せ植えに 笈羅
- 04) 鉢は故里信楽のもの 和子
- 月 05) そのかみの父母(ちちはは)と見た春の月 七緒
- 折端 06) 土筆蓬を摘む土手づたい 笈羅
- 折立 07) 鱒(はらあか)を釣った川端工場跡 恆雄
- 恋 08) 女子寮騒がしバレンタインデー 七緒
- 09) アイドルが福祉施設へ贈るチョコ 和子
- 10) 単衣(ひとえ)の項(うなじ)目で舐める午(ひる) 恆雄
- 11) 業平忌朴念仁で老いにけり 七緒
- 12) 才気煥発心が問題 和子
- 月 13) 月映す鏡に我が身そつと容れ 笈羅
- 14) アリスはめぐる走馬燈の盤 七緒
- 15) 夜長には秘匿SP掘り起こし 恆雄
- 16) 駅前露店疎らなお客 笈羅
- 花 17) 望む人みな迎え入れ花筵 和子
- 折端 18) 貴(あて)なる姿陽炎に溶け 恆雄
- 折立 19) 啓蟄かゴン蔵箱からレバノンへ 七緒
- 20) 英王室に次男の悩み 和子
- 21) 豪州で火消し姿で纏振る 笈羅
- 22) 鯉は嫌いだ温暖化はない! 七緒
- 23) 「暫」の天蚕(やままゆ)の袖三升紋(みますもん) 恆雄
- 24) 今の逡巡今何着るか 笈羅
- 恋 25) 町内会体育祭の良き賑わい 和子
- 26) 竜胆(りんどう)共に愛でた初恋 悦子
- 27) 鶉(うずら)パイ ダイヤ忍ばせ求婚す 七緒
- 28) 訳ありの過去ひめてやや寒 悦子
- 月 29) 有明月(ありあけ)をうつすら眺め後朝の 恆雄
- 折端 30) 枯野を渡る風も苦ならず 笈羅
- 折立 31) 大陸を駆ける夢路や冬の雲 悦子
- 32) 単于(ぜんう)受け継ぐスキタイの覇 七緒
- 33) この島に山焼く煙立ち上る 笈羅
- 34) 潮干満鯉(まで)も開閉 恆雄
- 花 35) 花の門くぐりぬければ今日の宿 悦子
- 36) 逃げ水浮かぶむさしの道 和子

2020・1・16

於 都内某所

連衆・亜湖、恆雄、笈羅、和子、七緒、悦子